

(様式 13)

氏名(本籍) 齋藤 大嵩 (東京都)
学位の種類 博士(歯学)
学位記番号 甲 第422号
学位授与日 2024年3月14日
学位授与の要件 博士の学位論文提出者(学位規程第11条第1項該当者)
学位論文題目 歯科用咬合力測定システムを用いた歯周炎重症度と咬合力の関連性に対する
臨床研究
論文審査委員 (主査)教授 藤澤 政紀
(副査)教授 村本 和世
(副査)教授 横瀬 敏志
(副査)教授 申 基喆

論文内容の要旨

歯周炎は、咀嚼障害を惹起し患者のQOLを低下させることが知られている。その背景には咬合力の低下が関与すると思われるがその因果関係は明らかではない。そこで本研究の目的は、歯周炎重症度と咬合力低下の関連性、および咬合力低下に影響を与える因子を検討することとした。

被験者は、患者群として2019年4月から2021年4月までに明海大学歯学部附属明海大学病院歯周病科に来院した歯周炎患者68名、対照群として歯周炎に罹患していないボランティア27名とした。年齢、現在歯数、平均PD、BOP陽性率、歯槽骨吸収率、平均動揺度を記録し、歯周炎重症度は歯周炎のステージ分類およびPISAを用いて評価した。咬合力は歯科用咬合力測定システム(デンタルプレスケールIIおよびバイトフォースアナライザ、ジーシー、東京)を用いて測定した。

統計分析の結果、対照群に対しステージII、III、IVの患者群は咬合力が有意に低下することが示された。また、相関分析および重回帰分析により、現在歯数およびBOP陽性率が咬合力と有意に相関することが示された。

このことから、歯周炎の重症化に伴い咬合力は低下し、臨床パラメータにおいては現在歯数およびBOP陽性率が咬合力と関連することが示唆された。

論文審査および試験結果の要旨

明海大学大学院 歯学研究科 歯学専攻 齋藤大嵩 に対する最終試験は、2023年12月27日、主査 藤澤政紀 教授、副査 村本 和世 教授、横瀬 敏志 教授、申 基喆 教授の4名により行われた。専攻学術に関し口頭試問を実施し、論文審査を合格と認めた。また、語学試験については、大学院入学試験の外国語試験の結果をもって合格とした。

よって、申請者：齋藤 大嵩は、博士(歯学)の学位を授与されるに値するものと判断した。